

JA水郷つくばパソコン研究会



オミクロン株の異常なまでの感染がいつ収まってくるのでしょうか。研究会では、WEB定例会として行っていますが、各種SNS等で質問等を受け付けています。ホームページの定例会のページにワードエクセル等の課題動画のリンクを載せましたのでご覧ください。また、こういう状況なので新規会員登録は行ってありません。



定例会予定 WEB予定となっております。

2月 8日 15日 22日
PCフォーラム発行

3月 1日 8日 15日 22日 29日
PCフォーラム会・総会準備資料づくりなど



ますます利用の多くなっているスマホですが、詐欺・なりすましメールが届くこともあります。どのような種類があるのか、またやっつけにくい対応などは紙面の都合で他のリンクをQRコードにて載せますのでご覧ください。

◆お問い合わせ

事務局 営農企画課 電話 029-823-7001 千野田
mail:japc2@dappe.com 小林まで

今月の特集

スマホで撮った写真をバックアップする

●iPhoneユーザーの場合は、iCloudの設定項目で「iCloud写真」をオンにしてあげれば、自動的に写真のデータがバックアップされます。

iCloudにバックアップされた写真は、撮影したiPhoneだけでなく手持ちのiPadやMac、WindowsPCなどでも確認できます。

ただし無料で使えるのは5GBまで。さらにiCloudでは他にもiPhone本体のバックアップなどで使われるので、写真の自動バックアップ設定をしておくことに足りなくなりますので、大容量のデータをバックアップしたい場合は、月額130円まで50GB、400円まで200GBなどの有料プランを活用することになります。

●Androidユーザーの場合は、Google純正の写真保存アプリ「Googleフォト」を使います。

Googleドライブは無料で15GBまで使えます。それ以上は有料となり、その容量はiPhone同様に写真以外でも消費されます。

iCloudと同様に自動で撮影した写真・動画を転送してくれる機能があるので、手動でアップロードする手間がかりませんが、あつという間に15GBに達してしまいますので、バックアップは手動設定にして残しておきたい写真だけバックアップしたほうが賢明です。

なお、iPhoneユーザーでもGoogleドライブは利用できるので活用しましょう。

●写真をバックアップできるその他クラウドストレージ

Amazonプライム会員は「Amazon Photos」で写真を無制限に保存可能

Amazonプライム（有料会員）会員になっている方は、「Amazon Photos」で写真を無制限にアップロードできます。

Microsoftが展開するクラウドストレージサービス・One Driveは、

Microsoft 365 Apps

¥900

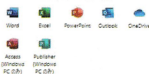
ユーザー/月相場
(標準サブスクリプション・自動更新)
標準に必要機能が含まれています。

今すぐ購入

1か月間無料お試し*4

- ✔ オフィスソフトのOfficeアプリ（プレミアム版向け）
- ✔ 1TBのクラウドストレージ
- ✔ 標準のセキュリティ
- ✔ 電話/ウェブサポート（いつでも利用可能）

含まれるアプリとサービス



Windowsで標準機能として提供されていますがiPhoneなどのスマートフォンやMacでも、アプリをインストールして無料で15GBまで利用可能です。

そして、とくに重要なのはOffice 365の会員なら1TBを使えてしまうことです。

仕事などでWordやExcel、PowerPointを使っている方は、追加料金無しで大容量の写真バックアップ（その他のデータも保存できます）ができるOne Driveを活用しましょう。

●従来方式のバックアップ

microSDカードやUSBメモリ、外付けのHDDといった機器を使えば、データをスマホやカメラから移してたくさん保存できます。それぞれ接続したパソコンやスマートフォンからしかデータを参照できないのはクラウドストレージと比べてデメリットですが、低価格で大容量の写真バックアップができるのは大きなメリットです。

●NASと呼ばれるタイプの外付けHDDを利用

この場合は対応するアプリなどを利用してPC、スマホ、タブレットなど様々な機器から写真を閲覧できます。家族で子供の写真などの共有をする方は、NASを使ってみてはどうでしょうか。

「NAS」とは、有線もしくは無線でネットワークに接続してデータのやりとりができるHDDのことです。スマホなどを介して家族間でデータの共有をしたり、外出先から音楽や動画を楽しんだりできます。

●手持ちのPCにまとめてデータをコピー

パソコンは500GBや1TBなど大容量のストレージが搭載されている機器も多いので、手持ちのPCにスマホやカメラから写真データをこまめに移すというバックアップ方法もあります。ただしPCに直接バックアップする場合は、HDDの容量が消費されるので、やがて他のデータを保存しきれなくなったり、動作が重くなったりといったトラブルが発生する可能性があります。できればPC本体の容量は余裕がある状態にしておき、写真や動画といったデータは外付けのデバイスにバックアップしましょう。

手持ちの外付けデバイスにバックアップする場合の注意点としては、機器本体が壊れてしまったらデータがまとめて失われてしまうことです。microSDカード、CD、DVDなどの外付けデバイスやPCは、突然故障したり、落とすなどして破損させてしまった可能性がゼロではありません。より万全な状態でバックアップをしたい場合は、ネットワーク上にデータが保管されるクラウドストレージも併用することをおすすめします。



パソコン研究会
ホームページ



JA水郷つくば
広報紙 WEB版